

● フラッグ・シグナルの運用について

- 従来の信号同様、フラッグ(旗表示)の補助表示として使用されます。
「黄旗1本」「黄旗2本の振動表示」「緑旗」「青旗」「赤旗」「赤ストライプ付黄旗」、「レドクロス(赤い斜め十字の入った)」が主に使用されます。
- RIDE THROUGH ボードは従来通りメインフラッグ台で提示すると同時に、シグナルブリッジに設置されたインフォメーションパネルにおいてもゼッケン番号とともに表示されます。オレンジボール旗、黒旗はメインフラッグ台、およびインフォメーションパネル、各ポストに設置されているライトパネルにてゼッケン番号とともに表示されます。

<図1 全ポスト オレンジボール旗提示イメージ>



<図2 全ポスト 黒旗提示イメージ>



● 予選

1. 公式予選走行前のライダー確認について

- 公式予選の走行ライダーは公式予選開始10分前までに各自のピットで待機し、補給を監査する蛍光ベストを着けているオフィシャルによるライダー確認を受けてください。競技役員の確認がなければ、予選に出走できません。
- 予選/決勝とも腕章は必ず右腕上部に着用してください。また、ヘルメットも車検を合格(合格ステッカー貼付)したものを使用してください。また、車検時に貼付されたヘルメット車検合格ステッカーには必ずゼッケンを油性ペン等でご記入ください。
※多重クラッシュ時などに素早くライダー判別を可能にするためです。
各ライダーの腕章およびヘルメット車検合格ステッカーの色は以下の通りです。
第1ライダー: 赤色 第2ライダー: 黄色 第3ライダー: 緑色 第4ライダー: 白色 第5ライダー: 桃色

2. 公式予選開始前のピットレーン待機について

公式予選時、前のクラスがチェッカーフラッグを提示されるまでは、ピット走行レーンへの移動はできません。各自のピット前で待機してください。

3. スロー走行時の対応

- ① スロー走行を余儀なくされた場合は必ずコース右端を走行してください。
- ② 各コーナーでレコードラインと接近する場所を走行するときは、お互いに注意して接触等がないように走行してください。
- ③ 初心者並びに走行に自信の無い方に、ビブゼッケンをお貸し致します。希望の方は、参加受付時にお申し出ください。なお、ビブゼッケンを着用して走行されている方を追い抜く際は、細心の注意と配慮をお願い致します。

4. 転倒時の対応について

- ① 転倒した場合、2次災害を防ぐために、転倒場所から速やかに状況を判断し退避するようにしてください。また、ヘルメットは安全な場所へ避難するまでは、脱がないようにしてください。
- ② 体に異常がなかった場合は、競技役員の車両撤去等を手伝ってください。
- ③ 大きな怪我でなくても無理せずメディカルセンターで受診してください。

その際、転倒時着用していたヘルメットを必ず持参してください。

- ④コース復帰する際は、後続車両に危険が及ばないように注意の上コースに復帰するようにしてください。また、アンダーカウル内の石などをコース上に撒かないように注意してください。
- ⑤転倒・マシントラブルにより車両が停止した場合、予選中はレッカー車による救済措置は行いません。ただし、オフィシャルによるグラベルからの脱出、押し掛けの援助は行います。

5. 予選タイムの採択

- ①各ライダーは、必ず指定された走行枠に出走してください。
- ②第1ライダー、第2ライダーのタイム測定を行い、記録されたそれぞれのライダーの最高ラップタイムを合算したタイムにより予選順位が決まります。

6. サインエリア／ピットレーンへの立ち入り

- ①サインエリアへ立ち入る場合は、サインマン腕章を必ず腕に着用してください。
- ②登録ピットクルー、ライダーのみサインエリア及びピットレーンへ立ち入ることができます。〔ヘルパーの方はサインエリア及びピットレーンへ立ち入ることはできません〕
- ③ピットボックス内、ピットレーン、サインエリアは禁煙です。
(パドック内も喫煙可能場所以外は禁煙です。)
- ④サインエリアでは傘の使用は禁止です。
- ⑤サインエリア、ピットレーンでは足全体が覆われている靴(穴などが開いていないもの)以外は使用禁止とします。

7. 公式予選時のピット作業について

- ①予選中にピットボックス内へ車両を入れた時点で予選走行を終了したものとみなします。
- ②予選中の燃料補給は可能です。ただし、以下の事項を必ず遵守してください。
 - 燃料補給作業は作業エリアで行うこと
 - 給油補給作業中はピット要員1名が必ず消火器を持って待機していなければならない。
 - 消防法に合致した携行缶で燃料補給を行うこと。ポリタンク、オイルジョッキ等での燃料補給は禁止する。
 - 燃料補給に携わるピットクルー全員は難燃素材(綿100%の素材は使用可)の長袖・長ズボンを着用すること。また、顔面保護のため、ゴーグルあるいはシールド付きヘルメットの着用を強く推奨する。
 - 給油補給作業はスタンドで完全に支持され、エンジンを停止し、ライダーは降車された状況下で行ってください。

8. 決勝レーススタート前の給油について

決勝レーススタート進行前のフリー走行終了後は、自ピット前にて給油が可能です。サイティングラップ終了後グリッド上では給油ができません。

● 決勝

1. 決勝レースのスタートについて

- ① 決勝レースのスタート方式は、スタaggerスタート併用のル・マン式です。
- ② サイティングラップ、ウォーミングアップラップへの出走は義務です。未出走のチームは罰則が科せられます。

2. スタート時の注意

- ① スタート時のカウントダウンに合わせてアナウンサーのコールが行われますが、正式なスタート合図は各グループのグリッド先頭の日章旗による合図となります。
- ② ウォームアップラップから戻ってきて、エンジンを停止する義務はありません。
- ③ スタート1分前の時点で、エンジンが掛かっていない場合は、速やかにピットに戻ってください。
- ④ スタート時、サインエリア(プラットホーム)は使用禁止です。全車スタートし追走のマーシャルカーがホームストレートを通過した後、サインエリアは使用可能となります。

3. 走行時の注意

① ビブの着用

速度の遅い車両・走行に自信のないライダーは蛍光黄色ビブを着用しています。接触等が無いように注意をお願いします。

② 救済措置

転倒・マシントラブルにより車両が停止した場合、救済措置を行う場合がありますが、次のように対応します。

- 1) オフィシャルによるグラベルからの脱出、押し掛けの援助。: 罰則は科しません。

- 2) レッカー車での回収の救済。 : 罰則は科しません。
 → 回収車両は車検場横に運びます。
 3) 西コース短絡路(ショートカット)の走行。 : 競技結果より3周減算。
 4) 東コース短絡路(ショートカット)の走行。 : 走行(使用)禁止。

③ マーシャルバイク

随時マーシャルバイクが、走行中に介入します。場合によってはラインに交錯する可能性もありますので、ご注意ください。

4. フルコースコーション

- ① フルコースコーション中のピットインは可能ですが、ピットアウトはピットレーン出口の信号機に従って下さい。
- ② 黄旗+SCボードが提示された時から、全車追い越し禁止です。また、走行の際は、必ず1列縦隊で走行して下さい。車間距離は、5車身以内に保つようにして下さい。
- ③ 前走者に追突しないように注意して走行してください。
- ④ フルコースコーション解除時の再スタートにおいて、各ライダーはコントロールラインを通過するまでは追い越し禁止です。
 コントロールライン通過前に追い越しをすると、再スタート違反となり罰則が科せられます。

5. 給油方法

- ① 燃料補給時は必ずライダーを交替しなければなりません。
- ② 携行缶のエア抜き、注ぎ口からのガソリンの吹き返しに注意し、燃料補給に携わるピットクルー全員は長袖・長ズボンを着用すること。顔面保護のため、ゴーグルあるいはシールド付きヘルメットの着用を強く推奨します。
- ③ 決勝の給油は、7時間決勝レースに参加するチームは、決勝前ブリーフィング終了後に主催者より**貸与される5リットル携行缶のみ給油装置として使用できます。**
- ④ 燃料補給時は燃料補給以外の全ての作業は禁止されます。
- ⑤ 携行缶に装着するノズル部分にまでガソリンを補充する事はできません。
 (ノズル内に油面が見えてはならない)。
- ⑥ 燃料補給時は、スタンドにより完全に支持され、**エンジンは停止、ライダーは降車された状況下で行ってください。**
- ⑦ 必ず作業エリアにて、燃料給油を行ない、ピット要員1名は必ず消火器を持って待機してください。
- ⑧ 燃料補給を伴うピット作業を行う場合、ピット停止時間が管理されます。
 4分間 : JP・WT・NST-Ninja
 3分間 : NST-R25・WS
 2分間 : NST-G310R・NST-ZX・NST-VTR・AT・AS・NST-CBR

6. ライダー交替

- ① **最低3人以上のライダーが必ず1度は走行してください。1名のライダーの連続走行時間は60分間以内です。**
- ② 再度走行する場合は、前回の走行が終了してから最低でも30分間の休憩を必要とします。
- ③ 国際ライダーの走行は3回までです。(国際ライダーの登録人数にかかわらず)
- ④ **ライダー交代をする際にはエンジンを停止してください。**
- ⑤ **ライダー交代(ピットイン作業)時は、補給を監査する蛍光ベストを着けているオフィシャルヘライダー交代申告書を提出してください。**

7. ピット作業について

- ① レース中のピット作業においては、エアツール(エアガン除く)、電動工具(扇風機を含む)の使用は禁止です。
 ※ライダー・ピットクルーへの扇風機の使用は認めます。
- ② ピットレーンで作業を行えるのは正式に登録されたライダー/ピットクルーのみです。
- ③ **タイヤウォーマーはレース期間中を通じて使用禁止**です。
- ④ 決勝中(スタート前チェック終了後から)にピットガレージ内へ車両を入れた時点でリタイヤとみなします。
- ⑤ 走行しているライダーとサインエリア及びピットとの間での無線機の使用は禁止です。
 ※ただし、競技監督が認めた場合は、電動/エア工具(エンジン関連の修理に限定される)の使用、およびピットボックス内での作業が認められる場合があります。

8. レース終了

- ① 決勝レースは所定のレース時間が経過した時点、あるいはスタート後公式通知にて公示される『決勝レース予定時刻』の時点でコース走行中又は、ピットロード上の先頭車両に対してチェッカーフラッグが振られます。
順位はチェッカーを受けた車両(ピットレーンで受けた車両も含む)の内、周回数の多い順に決定されます。
- ② チェッカーを受けた車両の先頭へ4コーナー先右からマーシャルカーがコースインし、車両を先導しコース1周します。
- ③ 車両保管場所
 3時間: パークフェルメ 7時間: 全車ホームストレート上 となります。
 ※メカニックにスタンドを持ってくるようにあらかじめ指示願います。
- ④ 表彰式
 3時間: 1~3番ピット 7時間: ホームストレートシグナルブリッジ下 で行います。
 表彰対象のゼッケンをお呼びしますので、該当チームのライダーのみ、表彰台へお越しください。
 ベストデザイン賞の車両のみ表彰台で車両と共に記念撮影します。

以上